

第3回

東北大学 Networking Evening

東北大学ではオープンイノベーション戦略機構の発足を契機に、創発のための企業と大学の交流の場として、「東北大学 Networking Evening」を開催して参ります。

東北大学からのプレゼンテーションの後に、フリーディスカッションの時間を設け、業界・専門分野を越えて、気軽に自由闊達に語り合える会を目指しております。

多くの企業の方にご参加いただき、この機会をご活用いただければ幸いです。

日時

2019年5月30日(木)

16:30-17:40 (受付開始16:15)

題材

**超音波を用いた革新的低侵襲治療の開発
—虚血性心疾患と認知症への挑戦—**

会場

日本橋ライフサイエンスビル9階 912会議室
東京都中央区日本橋本町二丁目3番11号

事前
登録制

メールタイトルを「**5月30日Networking Evening申込**」とし、
①氏名、②所属、③役職、④連絡先(電話など)をご記入の上
「oi-event@grp.tohoku.ac.jp」宛にメールにてお申込みください。
※参加費は無料です。

受付

お申込み多数の場合、会場収容人数との関係でご参加いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。当日、受付にて御名刺2枚をお預かりさせていただきます。

主催 : 東北大学オープンイノベーション戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>



TOHOKU
UNIVERSITY

超音波を用いた革新的低侵襲治療の開発 —虚血性心疾患と認知症への挑戦—

東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野助教 進藤智彦

東北大学は新世代の低侵襲治療装置として超音波を用いた血管新生療法の開発に取り組んでいます。近年、超音波がある特定の照射条件で生体組織に照射されると、血管新生や細胞増殖を促し、臓器の血流改善や機能回復に寄与することが報告されるようになりました。このような特殊な条件の超音波は、低出力パルス波超音波（low-intensity pulsed ultrasound ; LIPUS）と呼ばれ、新世代の低侵襲性治療として、近年注目を集めています。

この超音波治療装置は、狭心症においては既存の診断装置のビーム形状をそのまま利用し、心臓の虚血領域に短時間で効率的に治療用超音波が届くよう工夫されています。さらに、この超音波の特性を応用し、最近では認知症への適応拡大を目指し医師主導探索的治験が始まっています。認知症を対象とする超音波治療装置は、射出された超音波ビームが側頭骨ウィンドウと呼ばれる側頭部の薄い頭蓋骨を介して頭蓋内へと拡散し、海馬のみならず皮質全体にも到達するよう工夫されています。本研究は、超高齢社会における低侵襲治療の先駆けとなることを目指し、さらに臓器や疾患領域の枠組みを超えた研究・開発・臨床応用の推進が期待されます。

アクセス

- 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A6 出口より徒歩 3 分
- JR 総武快速線「新日本橋」駅 5 番出口より徒歩 2 分
- JR 山手線・京浜東北線・中央快速線「神田」駅南口より徒歩 11 分
- JR 山手線・京浜東北線・中央快速線「東京」駅日本橋口より徒歩 13 分

お問い合わせ先

- 東北大学オープンイノベーション戦略機構
- 担当： 谷津、谷口、大畠、田谷
- Email : oi-event@grp.tohoku.ac.jp



主催 : 東北大学オープンイノベーション戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>